

~News letter~



# かもみーる通信



64号 2015年10月

平成27年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

## キックオフ・シンポジウム

女性研究者の活躍による岐阜創生をめざして  
～地域循環型女性研究者育成・支援プログラム～

日時：11月9日（月）15：00～17：30

場所：岐阜大学講堂

基調講演

「日本における女性研究者育成・支援の意義」

山村 康子 氏

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）  
科学技術プログラム推進部 プログラム主管

入場無料  
申込不要

託児室  
無料

本プログラムは、代表機関である岐阜大学と共同実施機関である岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社との4機関の特長を活かしての連携型共同研究、研究補助員配置制度、企業インターンシップ、人財バンク共同利用等の取り組みによって、女性研究者(技術者)の地元企業への就職支援や、女性研究者の上位職・再就職チャレンジの環境整備を趣旨とするものです。

### パネルディスカッション 「女性研究者の活躍による地方創生に向けて」

モデレーター

林 正子 岐阜大学副学長（多様性人材活力推進担当）

パネリスト

一川 哲志 岐阜新聞社 編集局 論説委員長  
河野 恭子 岐阜県健康福祉部 子ども・女性局 局長  
野々垣孝彦 アピ株式会社 代表取締役社長  
山根 京子 岐阜大学 応用生物科学部助教

主催：岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社  
後援：岐阜県、岐阜市、岐阜新聞・ぎふチャン、岐阜大学地域交流協力会

キックオフ・シンポジウム  
女性研究者の  
活躍による  
岐阜創生をめざして  
～地域循環型女性研究者育成・支援プログラム～

日時：2015年11月9日（月）15：00～17：30  
場所：岐阜大学講堂

入場無料  
申込不要

託児室  
無料

主催：岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社  
後援：岐阜県、岐阜市、岐阜新聞・ぎふチャン、岐阜大学地域交流協力会

# カモミール月曆（室長からのメッセージ）



副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

## 映画「何を怖れる——フェミニズムを生きた女たち」紹介

9月27日（日）、岐阜県立図書館にて、ドキュメンタリー映画「何を怖れる——フェミニズムを生きた女たち」（主催：「何を怖れる」岐阜試写会実行委員会）を鑑賞する機会に恵まれました。松井久子 監督自身による講演もおこなわれ、「フェミニズム」の原点と歴史について、大いなる示唆を得ることができました。

この映画は、**1970年代日本のウーマンリブを嚆矢とする日本のフェミニズムの歴史**と、現在まで引き継がれている女性運動を映像で綴った作品です。登場するのは、池田恵理子、井上輝子、上野千鶴子、加納実紀代、駒尺喜美、桜井陽子、高里鈴代、高橋ますみ、滝石典子、近山恵子、中西豊子、田中喜美子、田中美津、樋口恵子、米津知子（五十音順・敬称略）といった錚々たるフェミニストの先人たち。

松井監督の真摯で率直な言葉が印象的でした。「私は70年代のリブ運動を担った女性たちと同世代でありながら、何の根拠もなく彼女たちをただ『こわい人』と決めつけて、勝手に距離を置いてきた『フェミニズム・コンプレックス』の女であった。」「彼女たちの膨大な著作を読めば、自分がいかに「ウーマンリブ」について大きな誤解をしていたかがわかる。」「彼女たちの『リブ』とは、『**女性として生きることを根底から問いつめる**』運動だったことが理解できたとき、どうしても自分の手で形にしたいと考えるようになっていた。」

映画の題名「何を怖れる」の由来についても、「何も怖れることはない。女として生きることを問題を真正面から見つめ、**女に生まれたことを胸張って受け入れ、もう一度生き直す事にしよう。**」

「これまでフェミニズムと距離をおいてきた人間だからこそ見えるものをすくい取り、作品に登場する女たちの勇気ある人生を通して、**後につづく娘たちへの贈りものになるような作品をつくりたい**と思った。」と熱く語られ、その情熱と実践から、改めて「女性学」を学び、「**フェミニズムの多様性**」を認識することの意義を痛感させられた次第です。皆さんも、ぜひ、次のURLをご覧いただき、「フェミニズムを生きた女たち」からの声に耳を傾けてみてください。

<http://feminism-documentary.com/>

## 「日本女性会議 2015 倉敷」 参加報告

10月9日（金）10日（土）の両日、倉敷市民会館で開催された「**日本女性会議 2015 倉敷**」に参加しました。「日本女性会議」は、男女共同参画社会の実現に向けて、諸課題の解決策を模索するとともに、参加者相互の交流促進やネットワークを構築することを趣旨とする大会で、今回が32回目。数多くの女性団体を中心に、全国津々浦々から約2,500名の参加がありました。

第1日は、内閣府男女共同参画局の基調報告「**日本の男女共同参画施策の現状と今後の課題について**」、武内陶子（NHKアナウンサー）・上田紀行（東京工業大学教授・文化人類学）夫妻による記念講演を聴講。

第2日は、分科会「**歴史が築くわたしの未来**」で、大正期から現代に至る女性史を学び、福田英子、近藤鶴代、永瀬清子、上代 淑といった岡山県出身の偉大な女性の足跡を辿りました。続いて、「UN Women」（United Nations Entity for Gender Equality and Empowerment of Women ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関）日本事務所の特別報告「**国際的な男女共同参画の取り組みとUN Women の役割について**」、最後に、記念シンポジウム「**希望の社会は“わたしたち”にある～ライフステージとそれぞれの男女共同参画～**」を聴講しました。

岡山大学副学長（学修環境・図書館担当）の沖 陽子氏をコーディネーターとするパネルディスカッションでは、授乳服メーカー「モーハウス」代表の光畑由佳氏、内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー（東レ経営研究所研究部長）の渥美由喜氏、倉敷市長の伊東香織氏、3名のパネリストの方々それぞれの立場からの発言に首肯すること頻りで、ライフスタイルや価値観の多様化する現代において、出産・育児・介護等と仕事との両立に向けての実践的なヒントや、「誰もが輝く働き方」による「希望の社会」実現に向けてのエールの交響するシンポジウムとなりました。

岡山大学における**WTT（ウーマン・テニユア・トラック）制度**や**研究サポート体制**等についても貴重な情報を得ることができました。今後、岡山大学をはじめとするダイバーシティ先行機関の精力的な活動と有効な取り組みについても、ご紹介してゆきたいと願っています。

在学生の  
皆さんへ

## 先輩社会人と語ろう

申込不要



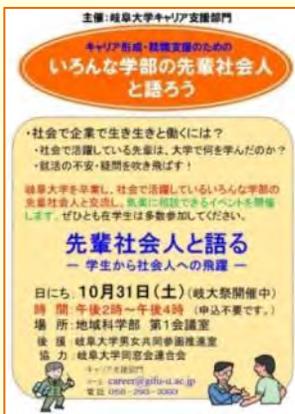
岐阜大学を卒業し、社会で活躍している先輩社会人と交流し、  
気楽に相談できるイベントです。  
是非ご参加ください。

岐大祭開催中

日時：10月31日（土）14：00～16：00  
場所：地域科学部 第1会議室

主催：岐阜大学キャリア支援部門 後援：岐阜大学男女共同参画推進室  
協力：岐阜大学同窓会連合会

お問い合わせ キャリア支援部門  
メール：career@gifu-u.ac.jp 電話：058-293-3393



女性研究者  
在学生の  
皆さんへ

## ロールモデル講演会

申込不要



平成27年度科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

11月17日（火）に、今年度第1回目の男女共同参画推進室主催ロールモデル講演会をおこないます。大月市立大月短期大学から宮崎理枝先生をお迎えし、「地方都市での女性研究者の役割 — そのワークライフ バランスについて」というテーマで講演していただきます。地方と大都市の違いによって、女性研究者の働き方がどう変わるのか、保育状況の違い、パートナーの状況（単身赴任等に関する状況）について語っていただきます。岐阜大学図書館1階のアカデミック・コアで、16:00から1時間程度を予定しています。学生・教員のための新しいオープン・スペースでの気軽に和やかな雰囲気での講演会に、どうぞぜひご参加ください。

主催：岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社  
お問い合わせ 岐阜大学男女共同参画推進室  
メール：sankaku@gifu-u.ac.jp 電話：058-293-3397

女子学生の  
皆さんへ

## 女子学生と社会人交流事業

要申込



平成27年度科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

自分らしい生き方、夢を描くことの大切さについて  
考えることを趣旨とする、働く女性との交流会です。

日時：11月26日（木）16：30～18：30  
場所：柳戸会館1階 集会ホール

主催：岐阜県 共催：岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社

申し込み・お問い合わせ 岐阜大学男女共同参画推進室  
メール：sankaku@gifu-u.ac.jp 電話：058-293-3397



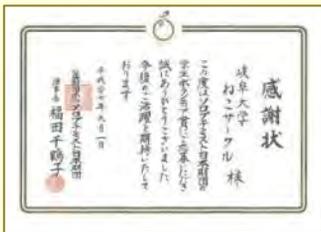
# 研究倫理研修会



平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の一環として、10月8日（木）15:00～16:00 岐阜女子大学本館 3階 大会議室にて、「科学研究費助成事業公募要領等説明会及び研究倫理教育に関する研修会（講師：日本学術振興会研究助成第一課長 大鷲 正和氏）」が開催され、68名の参加者がありました。大鷲氏による講演終了後は、研究不正に関するビデオ上映もおこなわれました。「科学研究費の申請」「研究費の正しい使い方」というテーマは、研究者にとって最重要課題であり、今回このような有意義な研修会を開催していただいた岐阜女子大学に心から感謝申し上げます。



## 岐阜大学ねこサークルに感謝状が贈られました



公益財団法人ソロプチミスト日本財団からねこサークルに贈られた感謝状

### 野良猫との共存を目指して

メッセージ  
from  
ねこサークル

ねこサークルは、岐阜大学内に生息する野良猫に対し不妊手術を施し、それ以上繁殖しないようにした上で、一代限りの生を幸せに全うできるよう、餌やりや周辺環境整備、里親探し等や、野良猫トラブルの解決に共に取り組む学生団体です。

将来的には**野良猫を人道的に減らす**ことを目的としています。

現在岐阜大学には、不定期に現れる猫も含め14匹もの猫が生息しており、内13匹は手術済です。（2015年10月現在）

「我々は、野良猫と人との共存を目指して活動しています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ご相談・ご質問等はコチラまで：[gifuneco@yahoo.co.jp](mailto:gifuneco@yahoo.co.jp)」



## 保育園たより



医学科1年生は地域体験実習で、コミュニケーションやライフサイクルなどを学ぶため、地域の方と継続的な関わりを体験します。

10月8日から6週間、保育園で園児たちと遊びを通じて交流しています。

学生と一緒に散歩をしたり、園庭で楽しく遊びました。  
はくちょうぐみは、運動会の親子競技の練習もできました♪



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：[sankaku@gifu-u.ac.jp](mailto:sankaku@gifu-u.ac.jp)

\*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

